

受付番号	平成 27年 12月 4日
/	午前 9 時 25 分 受領

胎内市議会議員 渡辺 俊 様



平成 27年 12月 4日

胎内市議会議員 榎本 文雄

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告いたします。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. TPP妥結に伴う 農業問題・胎内市 今後の取組について	1. 牛・豚肉の畜産農家に対する交付金制度を 永久保証制度とし、全額国の負担で行うべきと 考えるが、市としての考えを伺う。	市長
	2. 米の備蓄制度を活用した国別枠の輸入量に相 当する国産米の政府が買い入れる(78,000t) その他、77万tのミニマムアクセス米、毎年 買い入れる米が有る。 これらは今後、5年間の保管期間があったが、 3年に短縮し飼料用米に切り替えるとしているが 飼料用米生産者は、今後価格面・生産面でどの様 な保証対応が図られるのか伺う。	
	3. 農家の減収を補填する収入保険制度を導入を 考えているが、国と農家の出資金で設立するら しいが、コスト削減が叫ばれている折「ナラシ 対策」又「とも補償」の負担となるが、市として どの様な対策が考えられるか伺う。	
	4. 耕作放棄地に1.8倍の固定資産税導入の話も あり、県内では1万526ヘクタール、販売農家 戸数は54,433戸、前回より1万2,168 戸減ったが、この対策で放棄地が減少すると思 われるが、農業後継者が増加すると思うか伺う。	
	5. 本年8月の台風15号による、本県の農作物 被害額は10億2千万円に及んだ。 阿賀野市では、水稻種子購入費として12月議 会で3千万円補正予算に計上するほか、JAバ ンク新潟が創設した台風被害等、復旧支援資金 840万円と施設園芸ハウスや育苗ハウスのビ ニール張替補助金70万円も盛り込んだ。 来年の水稻種子購入費の3分の1を市が補助す る我が胎内市では考えられないのか。	

	<p>6. 新品種「新之助」に対する市の取組について米穀出荷事業者と生産者が一体となって生産対策に取り組む体制として「新之助」研究会を立ち上げ、会員として3名以上加入、45項目のマニュアルをクリアすることは大変なことと思うが、来年度、県全体で500t・100ヘクタール、全農家が作付出来ないが、市としての対応は。</p>	
<p>2. 若者定住人口増加対策について</p>	<p>1. 各・市町村人口減少歯止め対策に頭を悩めるところだが、胎内市で一番人口減少が進んでいる地域はどこ集落なのか。 人口減少対策を放置していたら、限界集落にならないのか対策を伺う。</p> <p>2. 空き家リフォーム・新築マイホームの取得奨励金を期限限定で考えられないのか。</p> <p>3. 高校生の遠距離通学費の援助が出来ないか。</p> <p>4. 若者男女の雇用の場が少ない、特に女性の働く職場が少ないと思う、市の考えは。</p> <p>5. 星の宮・つつじヶ丘に消雪パイプの設置が出来ないか、特に星の宮地区は道路の起伏が激しく排雪の作業が困難と地区住民から聞くが、今後の対策は。</p>	<p>市長</p>

受付番号	平成27年12月4日
2	午前9時47分 受領

平成27年 12月 4日



胎内市議会議長 渡辺 俊 様

胎内市議会議員 小野 徳 重

一 般 質 問 通 告 書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
農業後継者対策について	<p>1 農業従事者が高齢化し、後継者のいない農家は離農を余儀なくされているのが実態である。 当市の専業農家戸数と、そのうち後継者のいる農家戸数は。また、後継者のいない農家の営農の将来的見通しについて伺う</p> <p>2 農業後継者の問題は私的な問題でもあるが、後継者の確保のために、行政として何か打つ手はないのか、また、離農者の農地を企業誘致と同様に新規就農者を募集し、貸し付ける方策はできないか伺う。</p> <p>3 農業従事者は異性とふれあう機会が少なく、未婚率の高い現実を踏まえ、結婚は個人の問題ではあるが、都会の女性を当市に招き農家民泊をし、農業体験をしてもらうなど、交流の場を設けることは行政としてできないか伺う。</p>	市 長
職員の能力開発について	<p>職員が特定の目的をもって大学・大学院等へ入学を希望する場合に、学費を援助することや、民間ベースの研修の受講、セミナーへの参加、あるいは自治体法務の検定試験の奨励など、職員の能力を開発するための施策について市長の見解を伺う。</p>	市 長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
河川公園の整備について	黒川橋から鳥坂大橋間の兩岸の河川敷は鬱蒼とした雑木で覆われ、景観が損なわれている状況である。適切な時期に刈り払いなどを行い、市民が憩える河川公園として整備する考えはないか伺う。	市長
黒川体育館の今後の維持管理・運営について	黒川体育館は経年劣化に伴う老朽化が著しく、また、耐震補強工事も行われず、利用者は危険極まりない状況下で利用している。早急な更新若しくは大規模改修工事が必要である。今後どのように対応していくのか伺う。	教育長

受付番号	平成27年12月7日
3	午前9時12分 受領



平成27年12月7日

胎内市議会議長 渡辺 俊 様

胎内市議会議員 坂上 清一

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 黒川地区山間地域の高齢世帯の生活支援について	<p>①高齢者世帯の屋根の雪下ろしの支援については、ボランティア等の支援があると聞いているが、市の支援実績と今後の支援体制について伺います。</p> <p>②幹線道路から住居（玄関前）までの除雪について、高齢者世帯からの要望が強いが、市の支援策について伺います。</p> <p>③生活用品、食糧品等の移動販売の支援について、高齢者世帯からの要望が強いが、販売業者への連絡など、市の支援ができないか伺います。</p>	市長
2 子ども・子育て支援新制度の取り組みについて	<p>①「胎内市子ども・子育て会議」の審議回数や審議内容、委員からのどのような意見があり、また、子育て支援に関しどのようなことが意思決定されたのか伺います。</p> <p>②設置されている認定こども園は、中条地区に公立、私立合わせて2園ですが、今後、公立、私立保育園の認定こども園への移行の計画等について伺います。</p>	市長

受付番号	平成27年12月7日
4	午前9時26分 受領



平成27年12月7日

胎内市議会議長 渡辺 俊 様

胎内市議会議員 渡辺秀敏

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
胎内市沖に建設予定の洋上風力発電機について	胎内市沖に洋上風力発電100基建設の構想が浮上しているが、次の2点について ① 胎内市に対するメリットは ② 地域に及ぼす影響として、騒音・振動・電波障害・低周波による人体への影響・潮の流れの変化・漁業者との問題・竜巻や強風による被害・日本海クワライシと臨んでいる風景の変化等が想定されるが市としてはどのような考えか。また、これに対する地域	市長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>毎月10日に実施されている挨拶運動の拡充について</p>	<p>住民への補償の考えはどうか。 ③ 11月17日、18日に行われた市議会 における住民説明会の反応は、</p>	<p>教育長 市長</p>
	<p>毎月10日に市内小中学校及び中条 高校において、順番に挨拶キャラバ ン隊が巡回して挨拶運動も実施し ているが、現在の方法以外の方法も含め 対象も更に広げていく考えはなか</p>	

受付番号	平成27年12月7日
5	午前9時58分受領

平成 27 年 12 月 7 日

胎内市議会議長 渡辺 俊 様



胎内市議会議員 丸山孝博

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
市民の安心・安全について	<p>1 マイナンバーについて</p> <p>①市民の利便性はどのように高まると考えるのか。カードの申請は任意であることを徹底することについて。</p> <p>②従業員のいる事業所の負担は大きいですが、実態調査と相談体制をとるべきでないか。</p> <p>③個人情報の流出は、取り返しのつかない結果をもたらすがどう考えるか。</p> <p>2 TPPについて</p> <p>①「大筋合意」についての見解は。</p> <p>②水稻、畜産等の農家経営が立ちゆかなくなる懸念があるが、本市の影響をどう考えているか。</p> <p>③国会決議違反であり、まだ批准した訳でもない。農業をさらに破壊するTPPからの即時脱退を政府に求めるべきでは。</p> <p>3 AEDの設置について</p> <p>①市の施設でAEDを設置している施設数及び設置台数について。</p> <p>②その内、24時間使える状況にある施設名と設置数、その拡大についてコンビニ等に設置の依頼をおこなうことについて。</p>	市長
介護保険問題について	<p>1 29年度に総合事業に移行する要支援1、2のサービスについては市町村事業となるが、現行相当サービスの体制、財源は確保されるのか。</p> <p>2 大幅に事業費の安い無資格・基準緩和の「訪問型・通所型サービスA」は、安易に導入しないことについて。</p>	市長
SNSの推進について	<p>1 本市の活用状況と積極的な利活用を主要な課局等で行い、本市のきめ細かい情報発信、地域の活性化や更なる市民に開かれた行政の推進を図るべきではないか。</p>	市長

質問事項	質問の趣旨	質問の相手
胎内昆虫の家について	<ol style="list-style-type: none"> 1 この施設の位置づけについて 2 施設の維持管理を民間委託する理由について 3 専門職員が長期療養している真意について 	教育長

受付番号	平成 27 年 12 月 7 日
6	午前 10 時 15 分 受領



平成27年12月7日

胎内市議会議長 渡辺 俊 様

胎内市議会議員 佐藤 陽志

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第6条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
年度途中待機児童の解消について	①胎内市においても、年度途中で子ども園などの入園を待つ児童がいると聞いている。対応策は検討しているか。 ②保育士の人数は足りているか。また、一人の保育士が対応できる児童数を見直してみてもどうか。	市長
COP21を経て胎内市の環境基本計画の見直しと、次の胎内市地球温暖化防止実行計画の策定について	①日本は、2030年までに13年比で26%二酸化炭素の排出量を削減する新しい目標案を表明した。胎内市が掲げる様々な削減目標はどの程度の達成見込みか。 ②日本が表明した二酸化炭素の削減目標とリンクするよう胎内市の環境基本計画を見直し、また次期の地球温暖化実行計画策定と目標達成に向け、	

市民の審議委員と情報共有しながら

準備を進めてはどうか。

③家庭部門に関しては目標が40%減と

さらに高い目標が掲げられている。

産業部門も含め、市全体として取り組

むための啓発・制度設計をしていくつ

もりはあるか。



受付番号	平成27年12月7日
7	午前10時45分 受領

平成27年12月 7日

胎内市議会議長 渡辺俊 様

胎内市議会議員 渡辺栄六

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
地球温暖化防止対策について	<ol style="list-style-type: none">1、東日本大震災以降高まった節電の意識が薄れてきていることも危惧されるなか、政府は12月1日から3月末まで、冬期節電期間として省エネを呼びかけているが、胎内市の節電の取り組みは。2、今後の、ごみ排出量抑制の取り組みは。3、クリーンエネルギー自動車、いわゆる電気自動車、ハイブリット自動車や、燃料電池自動車の普及拡大についての考え方は。4、CO2削減のためノーマイカーデーの推進や、市内国道7号線で赤信号が続き、停止発進を繰り返すことがあるが、アイドリングの減少のための交通緩和ができないか。	市長
市営黒川住宅・教職員住宅について	<ol style="list-style-type: none">1、市営黒川住宅、26号から32号の7世帯分が取り壊され更地となっているが、今後の用途目的は。2、市営黒川住宅、33号から39号の7世帯分の約半数が、長年、空き家状態が続き老朽化が進んでいるが、今後の整備計画は。3、黒川北町の教職員住宅、1号から7号までの7世帯分が何年も空き家状態となっているが、入居利用しない理由と今後の活用方法は。	市長 教育長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
健康増進の取り組みについて	<ol style="list-style-type: none"> 1、特定健診や各種がん検診の受診状況と、検診率向上に向けた取り組みは。 2、国内で年間約12万人に発生し、約5万人が亡くなる胃がんの98%は、ピロリ菌感染による慢性胃炎が進行したものと考えられている。国内のピロリ菌感染者は推計約3500万人といわれているが、胎内市としても胃がんの早期発見・治療に結び付けるため、ピロリ菌検査による、胃がんリスク検診を実施すべきでないか。 3、高齢者の健康増進のため、国保が適用される診療を1年間受けなかったことなどを要件に現金支給や、ヘルスケアポイントなどの特典を与える制度を実施できないか。 	市長

受付番号	平成27年12月7日
8	午前11時02分 受領

平成 27年 12月 7日

胎内市議会議長 渡辺 俊 様

胎内市議会議員 森 田 幸 衛



一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告いたします。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
まち・ひと・しごと創生総合戦略について	<p>1【地域特産物品販路拡大】 “米粉のまち胎内”に相応しい米粉関連商品等のPR施設の必要性を訴える声がある。市民への米粉の普及を推進し、各スーパー・コンビニで米粉がいつも販売され、ごく当たり前のように各家庭に米粉が常備されていなければ“米粉のまち”とは言えないのではないか。</p> <p>2【ICTを活用した観光資源探訪・DMO形成の検討】 観光客入込客数の目標値（H31）116万2千人を実現する方策として、ウェブ・SNS等を活用した情報発信・プロモーション、効果的な市場調査・分析、戦略策定等について、本来であれば“胎内市観光協会”が担えれば理想的だが、果たして観光協会が推進主体に成りえると考えているのか。庁舎内に新たに専門の“係”を創設してでもやらなければならない重要な仕事だと思うが、その考えは。</p> <p>3【再生可能エネルギーの導入拡大】 胎内市沖が洋上風力発電に適した立地条件であるという背景や目的、構想の説明会が地元関係者に対して順次開催されているが、すでに洋上風力の課題や懸念もさることながら大きな期待も出揃っている。市長のスタンスがあまり積極的でないのはどうしてか。</p> <p>4【支え合いの環境づくり】 「高齢者」「障がい者」「ひきこもり」など、社会的弱者と捉えるのではなく、一人ひとりの役割を見出すことにより、地域に暖かな「にぎわい」が出てくる“共生のまちづくり”の第一歩を踏み出すために「甘草栽培における草取り作業」を社会福祉法人等の関係機関と具体的に協議し、次年度から試行的に取り組むべきと考えるが。</p>	市長

受付番号	平成 27年 12月 7日
9	午前 11 時 27 分 受領



平成 27年 12月 7日

胎内市議会議長 渡辺 俊 様

胎内市議会議員 八幡 元弘

一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 再生可能エネルギーについて	<p>① 太陽光発電が次々に設置されている。どのくらいの規模まで増える予定なのか。</p> <p>② 風力発電も海岸線に10基稼働している。今後、増える予定はあるのか。</p> <p>③ 洋上風力発電に関して、どのように考えているのか。</p> <p>④ 水力発電、太陽光発電、風力発電と再生可能エネルギーを利用した発電が多くある。「再生可能エネルギー促進都市宣言」をしては。</p>	市長
2. 学習環境について	<p>① 高校再編の動きがあるが、中条高校に、工業系の学科を併設するよう取り組んでは。</p> <p>② 平成28年3月に、健康増進のための総合体育館が完成予定である。今後は、健康増進に加えて、教養を身に付け、知識を深め、また、自宅や職場とは別のサードプレイス(第3の居場所)として施設、図書館機能も併せ持つような生涯学習センターも必要では。</p>	教育長

受付番号	平成 27年 12月 7日
10	午前 11 時 59分 受領

胎内市議会議長 渡辺 俊 様

平成 27年 12月 7日

胎内市議会議員 佐藤 武志

一般質問通告書



胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告いたします。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. まちづくりなどについて	1. 新たに、交通量の多い国道に面した場所に「道の駅」を設置し、道の駅を活用した特産物産品の販売やまちの紹介・観光振興などに利用しまた、イベント広場として交流人口の拡大を図り、多くの文化施設・観光地や市の魅力を知って頂くためにも、奥まった位置にある現在の「道の駅」よりも本来の意味を成すと思うが、考えを伺う。	市長
	2. 「中条駅」が約25億円もの事業費をかけて新設される。総合体育館・美術館なども建設中であり、このような事業に対して詳細な内容を知らない市民も多く、まちの変化など市民にとって大事な事業に対して適時進捗状況など、市報を通じ示すべきではないか。第2次総合計画の策定の「まちづくり」に対しても市民に実施するアンケート調査に必要なものとなると思うが、考えを伺う。	
	3. 市内には、親子や若者たちなどが、憩える場所が少なく、親子や若者などが憩える場所として、キャンプ場・オートキャンプ場・大型遊具などを備えた子どもたちも遊べる場所を新たに設ける考えは無いかを伺う。	
2. 若者定住促進などについて	1. 全国の市町村の自治体において、人口減少は将来に向けて重大な課題になっている。ある自治体は、若者定住住宅補助金を活用した人口減少対策の取組を行い、空き家対策の一環を含め様々な補助制度を活用して定住化を進めている。	市長

	<p>市は、今後若者定住に向けてどの様に取り組んで行くのかを伺う。</p> <p>2. 市内で人口減少が進んでいる地区は何処なのか。減少数の進んでいる地区を「定住促進重点地区」として位置付けて取り組んで行く考えを伺う。</p>	
<p>3. ふるさと納税について</p>	<p>1. 他市町村に納税される額と人数、及び、市に納税される額と人数を伺う。</p> <p>2. 納税された額に対して、返礼品の総額などを伺う。</p>	<p>市長</p>
<p>4. 物品等の購入について</p>	<p>1. 行政では、紙類から車両関係に至る様々な物品購入などがある。購入品は、どのような経緯を経て購入先などを決定しているのか伺う。</p> <p>2. すべての購入先は、許認可等を得ているものか、物品調達等入札参加資格審査申請書の受付は、どのように行っているのか伺う。</p>	<p>市長</p>